

門型ゲート関連

メーカーNH

サイクルパネルゲート（門型ゲート）

- サイクルパネルゲートは、これからの資源循環型社会にふさわしい環境対応型のエコロジー商品です。優れた機能と環境への優しい配慮で建設現場における環境保全活動をサポートします。

再生PETパネル仕様

パネル部には、エコロジー素材として開発されたリサイクルパネルを採用しています。「PETボトルリサイクル推奨マーク」の使用を許可された認定素材です。



パネルの入れ替えが簡単

枠体とパネル部とを分離した新構造により、パネルの脱着が容易になりました。パネル部は3分割なので破損した際にも部分交換だけで済みます。



プレス無くし、円滑な操作性

パネルの連結にはスプリング入り蝶番を採用し、円滑な操作性を実現しました。またこれまでトラブルの原因となっていた板プレスを無くし、すっきりとしたシンプル構造です。
※81サイズ以下対象。



ゆったり2m高のくぐり戸

出入りをスムーズに行うため、ゲート部のくぐり戸をゆったりサイズの2m高としました。これにより、実用的で使いやすいゲートです。



門型ゲート（柱付きタイプ・CYG）

サイクルメッシュゲート(CYG-90P)



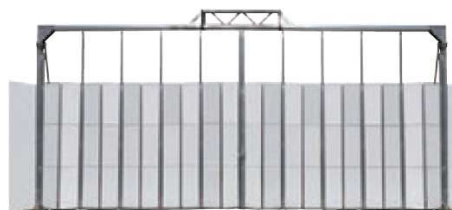
※上1段メッシュパネル仕様

メッシュパネル



メッシュ部には、開孔率約40%のアルミ製パンチングパネルを採用

サイクルパネルゲート(CYG-90)



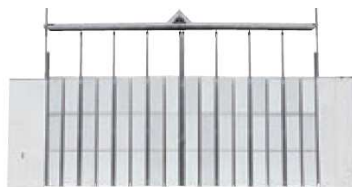
門型ゲート（柱無しタイプ・CLG）※CLGは単管を使用

サイクルメッシュライトゲート (CLG-72P)



※上1段メッシュパネル仕様

サイクルライトゲート (CLG-72)



サイクルシートライトゲート (CLG-72S)



※シートは、販売品

オプション

補強柱



現場の状況に応じてご使用下さい。

単管受けフック



安全対策品としてご使用下さい。

仮囲い柱固定用100角クランプ



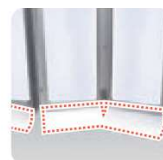
現場の状況に応じてご使用下さい。

パネル上部目隠シート



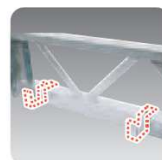
パネル上部の目隠しにご使用下さい。

パネル下部ゴムスカート



パネル下部の目隠しにご使用下さい。

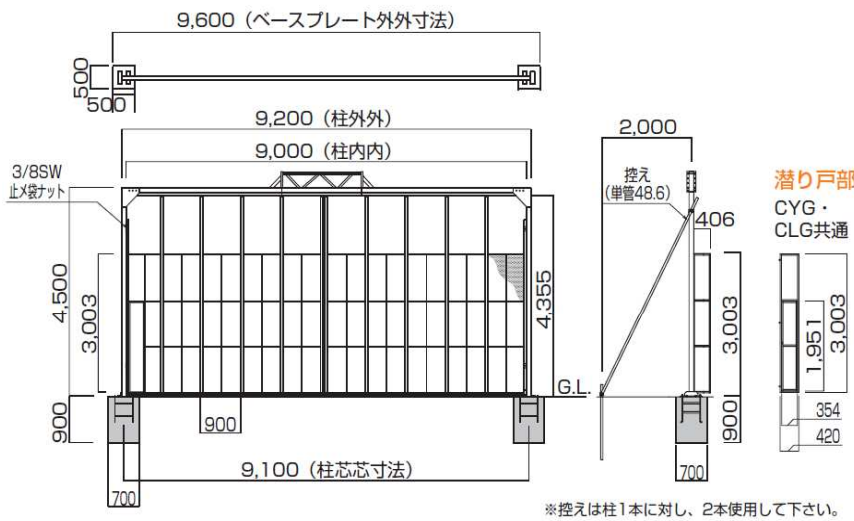
ケーブル受け



ケーブル類をスッキリと収納できます。

サイクルパネルゲート（門型） 関連寸法図

サイクルメッシュゲート(CYG-90P)



サイクルメッシュゲート/サイクルパネルゲート H=4,500mm

■ 規格物性

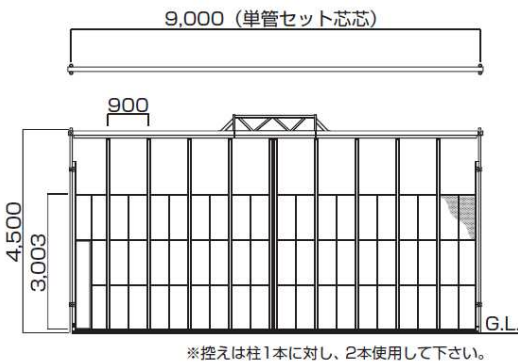
品番 ()内はメッシュゲート用	スパン (パネル数)	柱内寸 (mm)	有効開口寸 (mm)	柱芯寸 (mm)	重量 (kg) ()内はメッシュゲート重量
36 (36P)	4	3,600	3,240	3,700	401.4 (390.3)
45 (45P)	5	4,500	4,080	4,600	445.2 (431.3)
54 (54P)	6	5,400	4,920	5,500	488.0 (471.3)
63 (63P)	7	6,300	5,760	6,400	578.9 (556.6)
72 (72P)	8	7,200	6,594	7,300	600.7 (578.4)
81 (81P)	9	8,100	7,563	8,200	668.9 (643.9)
90 (90P)	10	9,000	8,460	9,100	808.5 (780.7)
99 (99P)	11	9,900	9,120	10,000	876.2 (845.6)
108 (108P)	12	10,800	9,950	10,900	933.6 (900.2)
117 (117P)	13	11,700	10,800	11,800	989.6 (953.4)
126 (126P)	14	12,600	11,640	12,700	1045.9 (1007.0)
135 (135P)	15	13,500	12,100	13,600	1932.3 (1890.6)
144 (144P)	16	14,400	12,900	14,500	2016.9 (1972.4)

注1) 台風などの強風の際には、全開にするかパネルを外すなど適切に対応してください。

注2) 都市部、風速18m以上の場合はご相談下さい。

ゲート・仮囲い

サイクルメッシュライトゲート(CLG-90P)



サイクルシート
ライトゲート
(CLG-36S)



サイクルメッシュライトゲート/
サイクルライトゲート/サイクルシートライトゲート

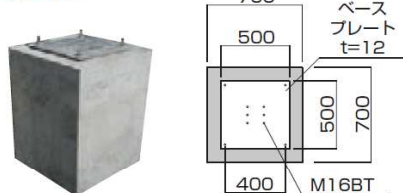
■ 規格物性

H=4,500mm

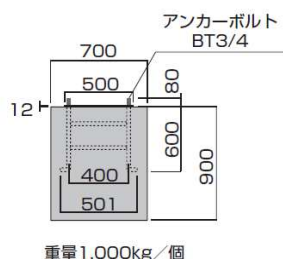
品番	スパン (パネル数)	有効開口寸 (mm)	単管セット芯寸 (mm) メッシュゲート ライトゲート	シートゲート	メッシュゲート 重量 (kg) 品番後部に付	ライトゲート 重量 (kg)	シートゲート 重量 (kg) 品番後部に付
36	4	3,160	3,600	3,550	178.1	189.2	116.0
45	5	4,000	4,500	4,450	215.0	228.9	138.3
54	6	4,840	5,400	5,350	251.0	267.7	159.7
63	7	5,680	6,300	6,250	288.8	308.2	182.9
72	8	6,520	7,200	7,150	347.0	369.2	226.5
81	9	7,360	8,100	8,050	408.4	433.5	273.3
90	10	8,200	9,000	8,950	451.5	479.3	301.8

基礎工事用プレキャストコンクリート

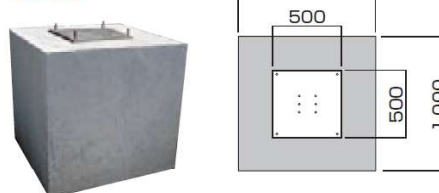
小タイプ



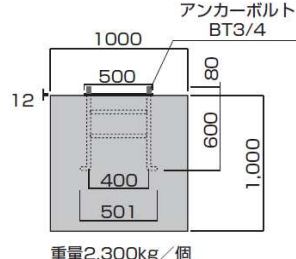
推奨ゲートサイズ
CYG-36
～ CYG-90
(立地条件によっては
126サイズまで使用可)



大タイプ



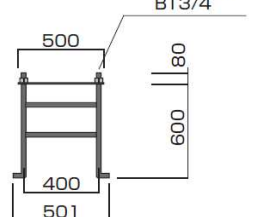
推奨ゲートサイズ
CYG-99
～ CYG-144



アンカーセット

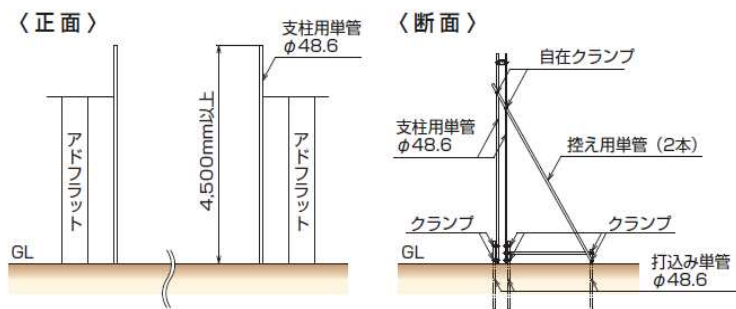


アンカーボルト
BT3/4



サイクルライトゲート (CLG) 建て方手順

図1



1

支柱設置

- 支柱用単管を片側2本ずつ(計4本)設置し、 $H=4500\text{mm}$ 以上を確保して下さい。(図1参照)

支柱用単管は転倒防止の為、控え用単管を片側2本ずつ(計4本)取付けて下さい。

支柱柱脚部には固定して下さい。(施工イメージにある、支柱単管の打ち込みは、柱脚部固定の一例です。)

※イメージ図は、一般的な施工状況を表しています。

※ゲートの部材には、単管及び直交・自在クランプは含まれておりません。別途御用意ください。

図2

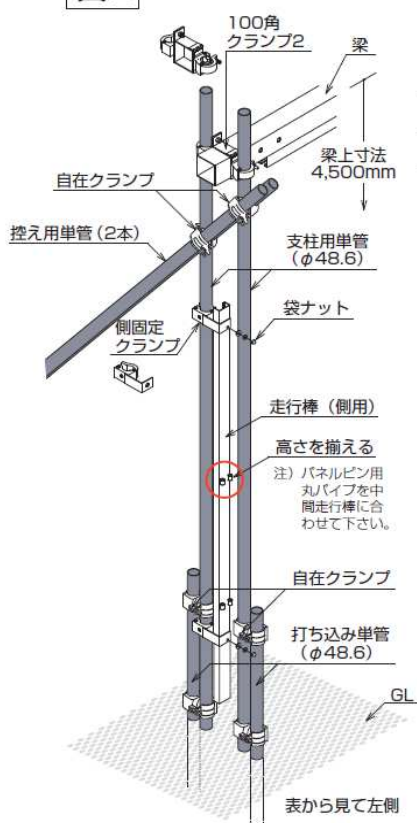
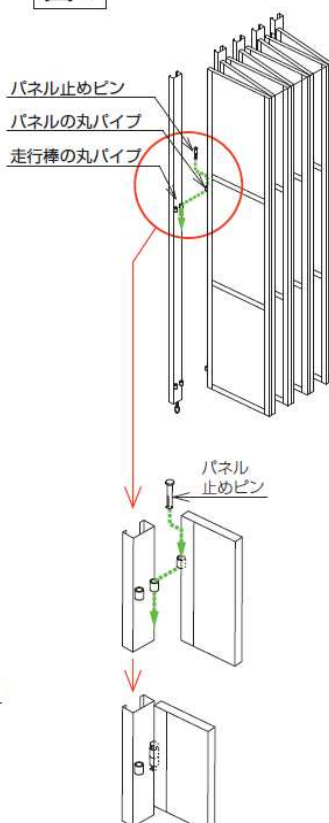


図3



2

梁の取付け

- 梁の角パイプの両端に100°角クランプ2を取付けて下さい。単管に単クランプで梁上からGLまで $H=4500\text{mm}$ に梁をセットして下さい。(図2参照)

◆ 注意 ◆
設置後100°角クランプ2に支柱用単管をねじるなどの過大な荷重をかけないでください。

3

走行棒の取付け

- 上部にセットされた梁のレールに走行棒を入れて下さい。

入れていく順番は、まず走行棒(中央左右)を入れて、次にレールの両端から走行棒(中間)を入れて下さい。最後にレールの両端の穴に抜け防止用ボルトをセットして下さい。

- 走行棒(側兼用)に溶接されているボルトを側固定クランプの穴にボルトを通し、袋ナットセットで両端の単管にセットして下さい。

◆ 注意 ◆
パネルピン用丸パイプの高さを中間走行棒と揃えてください。

4

パネルの取付け

- 走行棒の丸パイプの上にパネルの丸パイプを重ねてパネル止めピンを挿して下さい。

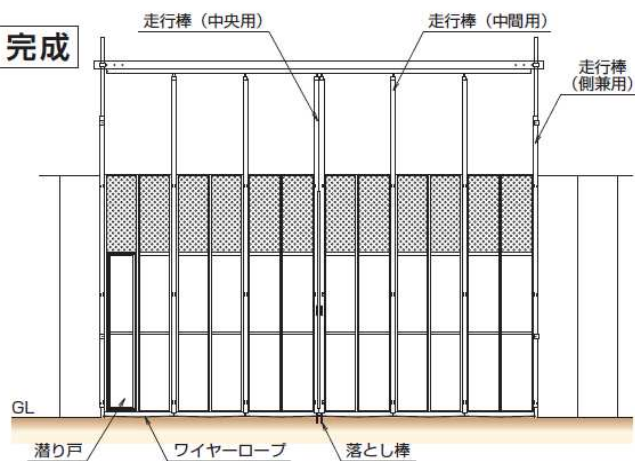
5

ワイヤーロープの取付け

- 走行棒の下部に付いているリングに、ワイヤークリップとターンバックルでセットして下さい。

※台風を含め強風時は、ゲートを開口しパネルを束ねて応急対応して下さい。

完成



サイクルシートライトゲート (CLG-S) 建て方手順

図1

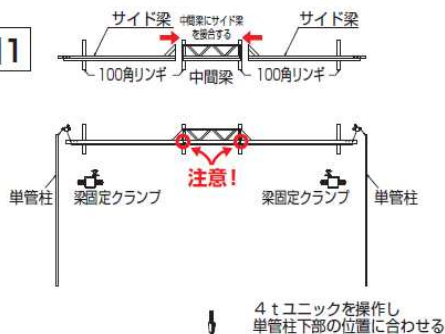


図2

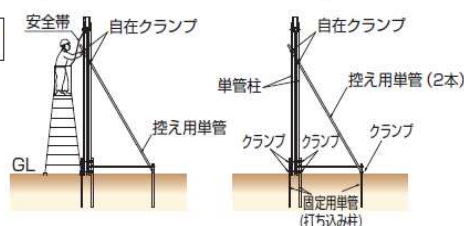


図3

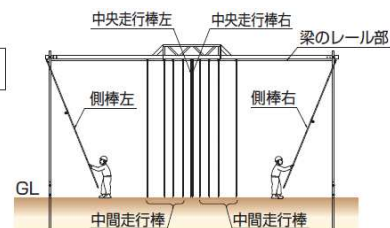


図4

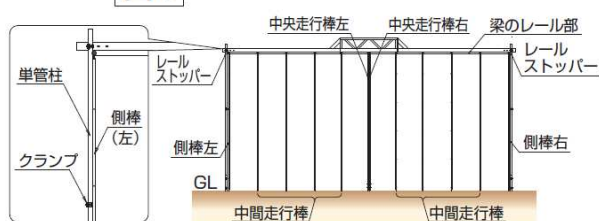
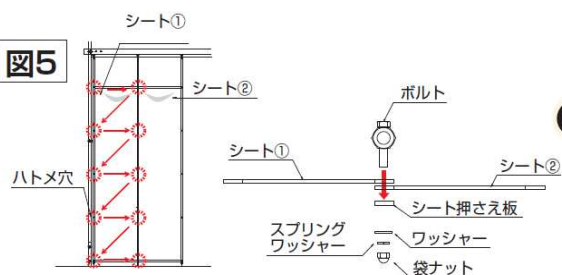
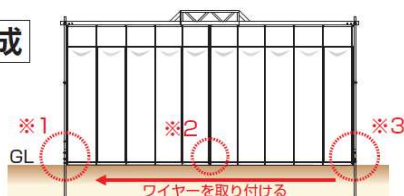


図5



完成



1

梁と単管柱の取付け

- 中間梁とサイド梁を100角リングの上に乗せ、接合部を合わせます。
- 中間梁とサイド梁を接合し、梁と単管柱を梁固定クランプで取付けます。
- ナイロンスリングをユニックのフックに掛け、巻き上げながら梁を起し、ゲート設置位置まで移動します。

使用部材：ボルト、ナット、ワッシャー、スプリングワッシャー 1/2×32

◆ 注意 ◆
レールのつなぎ目を合わせてください。

2

単管柱及び控え用単管の固定

- 梁両サイドの単管柱を固定用単管 (打ち込み柱) にクランプで固定します。
- 作業台に乗り、安全帯を梁部又は単管柱ピースに取付けます。
- 単管柱上部に控え用単管を自在クランプで固定してから、地上部を固定用単管 (打ち込み柱) にクランプで固定します。

◆ 注意 ◆
控えは、柱に対し2本使用して下さい。

3

走行棒をレールに差し込む

- 中央走行棒右及び左の吊車を梁のレール部に差し込み、次に中間走行棒の吊車を梁のレール部に差し込みます。

4

側棒とレールストッパーの取付け

- 側棒右及び左の吊車を梁のレール部に差し込み、側棒についているクランプを単管柱に固定します。
- 梁部のレール両サイドにレールストッパーを取付けます。

5

シートの取付け

- シート上部のハトメ穴の部分側走行棒の上部のボルトに通し、以下順番に側走行棒の各ボルトにシートハトメ穴を通します。
- 袋ナット、スプリングワッシャー、ワッシャーでシート押さえ板を固定します。
- 図5の手順で各走行棒にシートを張ります。

6

ワイヤーで走行棒・側棒を固定する

- 単管柱の片側部にワイヤーを巻き、ワイヤークリップで固定します。
- ワイヤーを側棒から順番にすべての走行棒・側棒下部のワイヤーリングに通し、他方の柱にターンバックルで取付けます。

